

2月の景だより

2025年1月31日発行

1年間の中で、一番寒い季節がやってきました！発熱するお子様もちらほらおられます。毎日の体調管理をしっかりと行い、元気に寒い冬を乗り越えていきましょう！

2月8日（土）は、生活発表会を行います。

子ども達は、生活発表会で保護者の方々に見てもらう事を励みにしながら、クラスの先生やお友達と一緒にごっこ遊びを楽しんだり、劇の練習を今頑張っています。

当日は、たくさんのお客さんに圧倒されて、恥ずかしくて固まってしまうたり、何も言えなくなったり…

いつもの頑張っている姿を十分発揮できないお子様もおられるかもしれません。

でも、当日の姿だけで子ども達を判断するのはやめていただきたいなあと思います。

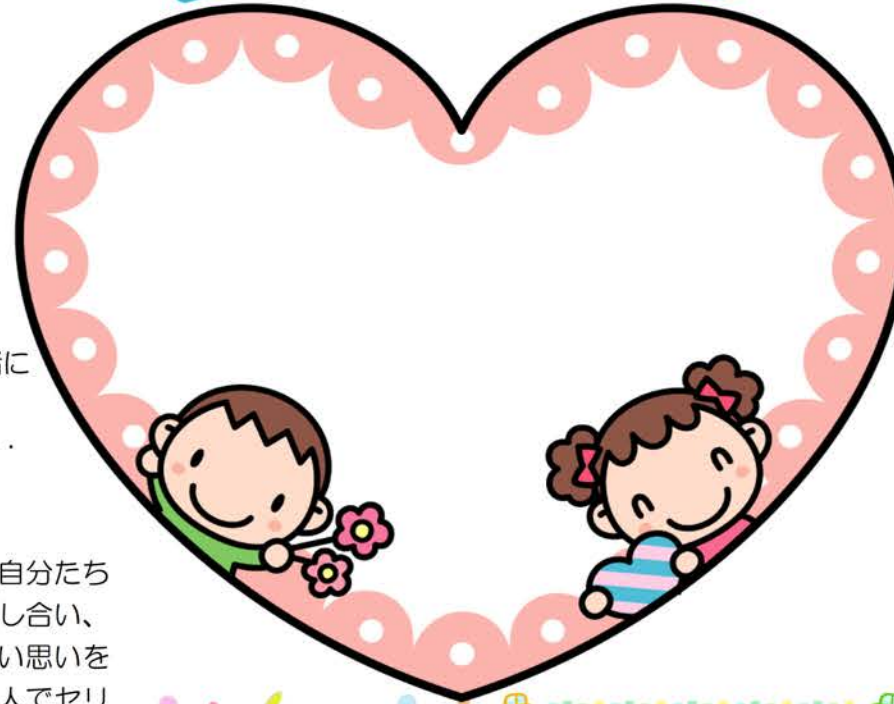
当日までの過程の中で、子ども達はいろんな力を育てていきます。幼児クラスともなると、劇の内容を自分たちで考えて台本作りをし、役割分担・大道具小道具作りも子ども達が行っていきます。クラスの仲間と話し合い、協力し、自分ひとりの力だけでは出来ない経験を積み重ねていきます。自分の思い通りにならず、悔しい思いをして我慢することもあるでしょう。また、お友達の思いをくんで役を譲ってあげたり、恥ずかしくて一人でセリフを言えないお友達を支えてあげたり、相手の思いを知り、思いやる経験もしていくことでしょう。

失敗もいっぱいしながら、泣いたり笑ったりしながら子ども達は成長していくと思います。

いろんな経験・思いを重ねられる機会（保育の構成）を作り、そこを丁寧に、子ども達と共に日々を重ねていく事がとても大切なんだと思います。発表会が終わったら、お子様の姿を丸ごと受け止めていただき、いっぱい褒めて抱きしめてあげて下さいね！子ども達の心はそれだけで報われ、ハートが満タンになり、次からも頑張ろうって意欲が湧いてくることでしょう。どうぞ暖かい応援をよろしくお願い致します。

園長 山本真理子

2月生まれのおともだち



★駐車場について★
最近、駐車場が混み合う事が増えています。駐車台数に限りがありますので、送迎はなるべく短めをお願いします。

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

Tel/072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

《法人の理念》

本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて福祉サービスを必要とするすべての人に仕え 日常を支援し 常に人々の人権を護り その人の尊厳を尊重します

《保育園がめざす子ども像》

- ◆自分で考え意欲を持って行動する子ども
- ◆相手を思いやることのできる子ども
- ◆健康で生き生きと遊べる子ども
- ◆豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

☆苦情解決委員会☆

- ◎苦情解決責任者 山本 真理子
 - ◎苦情解決窓口担当 山本 真理子
 - ◎苦情解決第三者委員 畑 健次郎・花岡 尚樹・酒井 咲子
- ※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情やご質問・ご要望等を受け付けております。又、子育てやそれらに関係するご相談も随時受け付けております。

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	体育あそび教室	生活発表会 予行	発育測定 ふれあい (地域子育て支援)			生活発表会 生活発表衣芸
9	10	11	12	13	14	15
	体育あそび教室		太鼓教室 0歳クラス懇談会	リトミック教室 (4・5歳) 1歳クラス懇談会	布団乾燥 2歳クラス懇談会	生活発表会 予備日
16	17	18	19	20	21	22
	体育あそび教室 3歳クラス懇談会	英語あそび教室 4歳クラス懇談会	新入園児説明会 (0・1歳)	リトミック教室 (2・3歳)	体育あそび教室 新入園児説明会 (2・3歳)	
23	24	25	26	27	28	
		英語あそび教室 5歳クラス懇談会	太鼓教室 誕生日会 無料法律相談	ぴよぴよ (地域子育て支援)	お別れ遠足 布団乾燥	

今月の聖書の言葉
「私は弱い時にこそ強いからです」(コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章10節)

子どもたちの成長を改めて振り返ってみると、わずか数カ月の間に新しくできるようになったことが多くあることに気付きます。もちろん、その量や早さは人それぞれですが、どの子どももみな着実に心身ともに大きくなってきています。はじめは一人で寝返りを打つこと、立つこと、歩くことから始めて、やがておしゃべりをしたり、お友達と一緒に遊んだりとなり難しいことへと変化して行きます。それらはどれも一回ですぐにできるようになるわけではなく、失敗を何度も繰り返しながら学習して身につけていくものです。ご家庭でも園でも「もう一度やってみようね」と励まし続けることを通して、成功できるようになるのだと思います。

今月の言葉「弱い時にこそ強い」は、一見矛盾しているようですが、原語では「弱い時にこそ力がある」であり、その力とは自分の力ではなく、全ての命を根底で支えて下さっている神様の力だと言われています。自分の力では何度やっても失敗続きで、たとえ諦めそうになっている時でも、「もう一度やってみようよ」と隣にいる人から励まされたら、もう一度挑戦できることがあります。そんな時、そこに神様の力も働いているのだと思います。自分の力ではどうしようもないと思っても、いつでも神様が一緒にいてくださる。そして周囲の方たちの手を通して、手伝ってくださる。だから大丈夫。子どもも大人もつまずくことがあっても大丈夫。神様はみんなのことをいつも支えて下さっています。

チャレン・牛田匡